



杉谷 洋一 議員

地域自主組織の課題は

町長 幅広い世代の参画を

〔杉谷〕近年、高齢化が進み、集落コミュニティが衰退してきている。地域で抱えている諸問題を行政と連携し、知恵と労力を出し、地域資源を最大限に生かして、安全で安心して暮らせる地域が求められている。

地域自主組織の課題と将来の見通しは。

〔町長〕地域課題の解決に向けてさまざまな取り組みを進めている。まだ組織化されていない3地区も活動している。将来は、10地区すべてに地域自主組織を設立し、地域と行政が連携しながら幅広い世代が参画するまちづくり活動を進めたい。

〔杉谷〕地域自主組織の人材育成は。

〔町長〕各自主組織の研修や活動参加で育成につながる。

〔杉谷〕自主財源確保のため、公共施設の管理維持などを地域自主組織に委託してはどうか。

〔町長〕平成27年度からすでに委託をしている。



雲南市の自主組織「日登の郷」で学ぶ

家庭内保育の支援は 給付金制度を創設した

〔杉谷〕女性の社会進出によって、育児環境は保育園での施設型集団保育を軸として進められているが、子育てで最も大切なものは、3歳までのアタッチメント（親子の強い愛情と絆）といわれる家庭内保育であると考えている。

家庭内保育での親の負担感や孤立感に対する子育ての行政支援を拡充しては。

〔教育委員長〕今年度から家庭保育支援給付金制度を創設し、生後8週間を過ぎ、1歳までの対象家庭に給付している。

〔町長〕3歳までの親子の愛着形成が重要であるため、本町では家庭保育に対する支援制度を設けた。利用者から拡大大望があり、今後の検討材料として、アンケート調査を考えている。

また、子育て支援センターでの親の孤立感の解消や相談環境の充実、また保育園での子育て環境の整備充実もはかっている。



楽しく遊ぶ幼児たち

道の駅の現状とこれからは

町長 充実に努めていく



吉原 美智恵 議員

〔吉原〕道の駅は町の玄関口であり、観光交流センターとしての役割も持っている。また、町の農産物・特産物の販売、情報発信の場でもある。

しかし現状は、地元の人が少ない、食事メニューも大山町らしさがなく、スタッフ教育にもおぼつかない心が見えず、課題が多いのではないかと。

〔町長〕現状の入り込み客数は、開通後に落ち込みがあったが、現在復調しつつある。これから大山開山1300年にむけたPR、情報発信の強化が必要である。

地元産小麦を使ったラーメンの開発を行っているが、食堂メニューの見直し、接客などを含めたスタッフのレベルアップにも力をいれていく。

〔吉原〕情報発信や営業について、人気のある道の駅のノウハウを分析し、今後に生かすことも必要ではないか。

〔町長〕今ある人材を生かしながら、道の駅の充実に努めていく。



にぎわうイベント

〔吉原〕未来づくり10年プランには、限られた財源を最大限に活用するため、会社経営のようにマネジメントする発想が必要と記されている。

特に、事業の評価と改善を大切にし、決算を通じて事業・事務の見直しなど、次年度の取り組みに生かされているか。

〔町長〕事務事業評価の結果や、決算の状況を勘案し、事業の見直し、今後の方向性や改善点などをまとめていく。

〔吉原〕決算の評価、改善について、各課で話し合っ予算編成に



未来づくり10年プランを生かして

決算をふまえ 事業の見直しは

町長 見直して
改善している

生かしているか。

職員一人ひとりが町を担って予算を有効に使い、事業を磨いて効果を上げ、決算にもつていくんだという強い意志で働くことは、本

人にとっても、町民にとっても良いことではないか。

〔町長〕職員一人ひとりが高い意識を持って、朝礼を行いながら、業務遂行にあたっている。